

40103航空業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2018	1	22 ～ 23	客室前方左側乗務員座席で、空港着陸に備えてタイミングをはかっていたところ、着地の際に強い衝撃があり、右頸部と左腰部に痛みが出た。	31	19	239	—
2	2018	1	22 ～ 23	客室前方から2番目の左側客室乗務員座席で、空港着陸に備えてタイミングをはかっていたところ、着地の際に強い衝撃があり、腰部から臀部にかけて痛みを感じた。	51	19	239	—
3	2018	1	9 ～ 10	ギャレー内、食事配布後、別の客室乗務員が止めていたカートの側面と壁の間20cm程度の隙間に入り作業をしていたところ、カートが体に当たって倒れ左ふくらはぎに当たり、直径5cmほどの円形の赤みができた。	26	6	921	1000人以上
4	2018	1	22 ～ 23	機内後方台所で1食目の食事サービスのための食事が入ったカートを2人で運んでいるとき、お互いのタイミングが合わず、機内後方台所から客室へカートを運び出そうとしたが、うまくカートを操作することができなかった。その際、機内後方台所付近に設置されていた機内販売商品が入っているカートが飛び出さないように掛けている留め具に肘を強打した。	27	3	362	1000人以上
5	2018	1	17 ～ 18	離陸してすぐに、ベルトサインが消灯した後、機内後方の台所で、飲み物サービスの準備を始めたところ、急な揺れに遭遇した。片手でサービスカートを抑えながら体を保持しようとしたところ、機内後方台所に設置されているカウンターに胸とみぞおち部分を強打した。その後、痛みと吐き気があった。	23	3	714	1000人以上

14	2018	3	7 ～ 8	クルーバスに乗車した際、ドアに背を向けたまま右手でドアを閉めようとした際、内側にスライドするドアに胴体が当たり転倒し、バス座席下に設置されていた、消火器のトリガーの先端に強打し、受傷した。	27	2	231	500 ～ 999 人
15	2018	3	18 ～ 19	飛行前の旅客着席状況確認中、開いている頭上物入れから不安定な状態で収納されていたお客様の手荷物が客室乗務員の左頸部と左側頭部、左肩に落下し受傷した。	44	4	611	1000 人 以 上
16	2018	3	13 ～ 14	サービス準備のため飲み物カートの整理をしていたとき、カート奥側の引き出しからドリンクを取り出すため、手前の引き出しを半分引き出して腕を入れた際、手前の引き出しのバランスが崩れ、引き出しごと約40cmの高さから右足の甲に落下し受傷した。	24	4	362	1000 人 以 上
17	2018	4	13 ～ 14	作業にて航空機へ搭載するコンテナ（総重量1118kg）を、ドリーからハイリフトへ移送させるため手で押し下半身に力を入れたところ、右足脛脛内部に痛みを感じた。	60	19	921	1000 人 以 上
18	2018	4	15 ～ 16	空港へ、航空機の着陸時、FWDのアテンダントシートに着席していたが衝撃が強く、腰や背中に響く振動があった。	28	19	239	500 ～ 999 人
19	2018	4	12 ～ 13	客室前方厨房内にて飲み物カート内の最下段飲み物収納箱を交換するとき、自分一人で収納箱を引き出し、持ち上げる際、通常より急いで、飲み物が一杯に詰まっている状態の収納箱を持ち上げたことで、左手首に痛みを感じた。	35	19	611	1000 人 以 上
20	2018	4	9 ～ 10	研修受講後、教室内移動の際にデスクの脚元に突っかかった感じがし、左膝に違和感があったが痛みは小さく研修を継続したが、左膝人工関節の周囲の骨折となった。	44	90	391	1000 人 以 上
21	2018	4	18 ～	旅客搭乗中、小さめのカバン2つとボストンバッグ1つが入った頭上物入れの蓋をかなり重いと感じながら焦りの気持ちで閉めた。重さでロックが掛からず蓋が勢いよく下りてきて右手親指上に当	23	6	391	1000 人 以

			19	たり受傷、指が反った状態となった。					上
22	2018	4	5 ～ 6	業務のため出社の際、入口から入り、地下1階の更衣室に向かう途中の階段を右手は手摺りに掴まりながら下りた。下り始めて1、2段目で階段の滑り留めゴム部分に靴のカカトのヒールが引っ掛かり転倒し、手摺りに掴まったまま3、4段滑り落ち、体を支えた左足をひねり負傷した。	25	1	413	1000人以上	
23	2018	4	17 ～ 18	機内前方で非常用装備品の説明を終了し、お辞儀をしていたところ、地上走行中に急ブレーキが掛かり、バランスを崩し、背中側にあった貨物室ドアに衝突し、背中と腰を強打した。	43	3	239	—	
24	2018	5	16 ～ 17	研修施設内で緊急脱出研修のとき、機内からのスライダーによる脱出訓練時、着地時に床面に直接尻餅をついた。	57	1	911	1000人以上	
25	2018	5	15 ～ 16	客室最前方左ドア付近カウンター前で飲み物のサービス用カートを用意していたところ、カート上に飲み物のポットを置いた状態で突然予期せぬ揺れがあり、咄嗟にカートに手を置き踏ん張った。その後腰に違和感、足のしびれのような感覚があった。	35	19	239	1000人以上	
26	2018	6	15 ～ 16	機内後方の客室右側通路で、飲み物サービス後、お盆を手に持って後方厨房から機首側に向けて、後ろ向きに歩きながらカップを回収しているとき、突然大きな縦揺れがあり、2回目の揺れで15cm程度足が床から離れ、床についた際に左足首に強い痛みと腫れが生じた。	28	1	239	1000人以上	
27	2018	6	12 ～ 13	訓練施設内、訓練用ファーストクラス客室付近で、サービス訓練中に使用した長椅子を片付けるため、同僚と2人で長椅子の両端を持ち上げたとき、思っていたよりも長椅子が重く、相手との息も合わなかったため、持ち上げたときに腰に痛みが生じ、数メートル運び終わったあと痛みが強くなった。	36	19	419	1000人以上	
			13	宿泊ホテルから空港まで移動するため、大型タクシー（CA計7名乗				1000	

28	2018	6	14	車) で走行中、後続のレンタカーに2回追突された。その際、シートベルトはしていたが、首・顔・背中・腰を強打した。	24	17	231	人以上
29	2018	6	14	13 宿泊先ホテルから空港に向かうジャンボタクシーで走行中、後続のレンタカーに2回追突された。追突時の衝撃で前の座席に顔をぶつけ、鼻に痛みが生じた。	25	17	231	1000人以上
30	2018	6	14	13 宿泊ホテルから空港までの移動するため、大型タクシー（CA計7名乗車）で走行中、後続のレンタカーに2回追突された。その際、シートベルトはしていたが、首・顔・背中・腰を強打した。	25	17	231	1000人以上
31	2018	6	14	13 宿泊ホテルから空港までの移動するため、大型タクシー（CA計7名乗車）で走行中、後続のレンタカーに2回追突された。その際、シートベルトはしていたが、首・顔・背中・腰を強打した。	30	17	231	1000人以上
32	2018	6	14	13 乗務予定のCA7名が、宿泊ホテルから空港に向かうジャンボタクシーに乗車中（時速40km程度）、後続のレンタカーに2回追突された。	26	17	231	1000人以上
33	2018	6	14	13 宿泊先ホテルから空港へ向かう大型タクシー（CA計7名乗車）で走行中、後続のレンタカーに2回追突された（時速40km程度）。	29	17	231	1000人以上
34	2018	6	14	13 宿泊先ホテルから空港へ向かう大型タクシー（CA計7名乗車）で走行中、後続のレンタカーに2回追突された（時速40km程度）。	24	17	231	1000人以上
35	2018	6	16	15 飛行中、揺れによりシートベルト着用サインが点灯したため、前から4番目にある右側乗務員座席に着席していた。その際、旅客が左側トイレからキッチンを通り右側前方の座席に戻ろうとしたため、着席したまま注意を呼び掛け、振り向いて旅客の着席を確認したときに首を痛めた。	30	19	921	1000人以上
36	2018	6	11	空港ランプ内を移動中、ターミナルビルの案内板に足が引っ掛	56	2	417	300～

			12	かって前のめりに転倒し、左肘と右手を負傷した。				499 人
37	2018	7	13 ～ 14	乗務員座席で着陸に備え着陸姿勢をとっていたところ、接地の際に強い衝撃があり、首に衝撃を感じ、その後首から背中にかけてほてりと痛みが生じた。	40	19	239	1000 人以上
38	2018	7	13 ～ 14	乗務員座席で着陸に備え着陸姿勢をとっていたところ、接地の際に予想よりも大きな衝撃があり、首から腰にかけて痛みが生じた。	39	19	239	1000 人以上
39	2018	7	13 ～ 14	乗務員座席右側で、着陸に備え着陸態勢をとっていたところ、接地の際に強い衝撃があり、首から腰にかけてと腕にしびれと違和感が生じた。	39	19	239	1000 人以上
40	2018	7	11 ～ 12	乗務のため移動中、空港内ターミナルで段差のない通路で2度滑り転倒し、左足を負傷した。	55	2	417	1000 人以上
41	2018	7	11 ～ 12	ホテルから空港に向かうワゴン車乗車の際、ドア近くに手が添えられていることに気付かず扉を閉めた際、扉と車体の間に左手薬指と小指の指先から第二関節が挟まり受傷した。	24	7	231	1000 人以上
42	2018	8	10 ～ 11	飛行中の航空機内にて業務中、機体が突然上下に揺れたために体が浮き、転倒し、臀部を受傷し、尾骨骨折と診断された。	29	2	239	500 ～ 999 人
43	2018	8	10 ～ 11	1食目サービス中、ギャレー内で電子レンジで温めたところ、加熱が不十分であったため再加熱をし、素手で電子レンジから取り出した際、ラップが剥がれ、中の蒸気が右手の平に当たり火傷した。	43	11	911	1000 人以上
			16	エコノミークラスの旅客座席にある壁に赤ちゃん用ベッドを装着しようと、固定用ネジを壁の穴に入れようとした際、旅客が着席				

52	2018	9	21 ～ 22	機内前方左ドア付近にて旅客の見送中、背後にいた大柄な旅客が座席上物入れからバッグを取り出そうとした際、バランスを崩して後ろ向きに転倒しそうになった。その際、客室乗務員の左肩甲骨下付近に旅客の頭部が当たり、勢いで前に突き飛ばされたような状態になり背中に痛みを感じた。	49	19	921	1000 人 以 上
53	2018	9	16 ～ 17	旅客搭乗中、手荷物で満杯の座席上収納棚の扉を閉めるため、座席横ステップに乗り両手で扉を押し込んだ際に、右手親指の付け根付近をひねって負傷した。	25	19	611	1000 人 以 上
54	2018	9	21 ～ 22	空港内事務所へ向かうためキャリーバック1個、トートバック1個を持ち、機体扉に接続している可動式搭乗機の外階段を降りていたところ、階段の中腹で左足のヒール部分が階段溝に引っ掛かり、バランスを崩して滑り左足首をひねった。	22	1	413	1000 人 以 上
55	2018	9	9 ～ 10	旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	28	19	239	—
56	2018	9	9 ～ 10	旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	27	19	239	—
57	2018	9	10 ～ 11	3階客室サービス本部から移動中、階段で2階に下りる際、両手にスーツケースとサブバッグを持っている状態でベルトが外れているのを直そうとしたところ、バランスを崩して転倒し落下し、打ち身と左足首の甲辺りを骨折する怪我を負った。	46	2	413	500 ～ 999 人
58	2018	9	18 ～ 19	旅客搭乗中、手荷物（キャリーケース1個/10kg）を座席上に収納の際、腰に強い痛みが生じた。	23	19	611	1000 人 以 上
				機内前方左ドア付近にて旅客の見送中、背後にいた大柄な旅客				

59	2018	9	21 ～ 22	が座席上物入れからバッグを取り出そうとした際、バランスを崩して後ろ向きに転倒しそうになった。その際、客室乗務員の左肩甲骨下付近に旅客の頭部が当たり、勢いで前に突き飛ばされたような状態になり背中に痛みを感じた。	49	19	921	1000 人 以 上
60	2018	9	16 ～ 17	旅客搭乗中、手荷物で満杯の座席上収納棚の扉を閉めるため、座席横ステップに乗り両手で扉を押し込んだ際に、右手親指の付け根付近をひねって負傷した。	25	19	611	1000 人 以 上
61	2018	9	21 ～ 22	空港内事務所へ向かうためキャリーバック1個、トートバック1個を持ち、機体扉に接続している可動式搭乗機の外階段を降りていたところ、階段の中腹で左足のヒール部分が階段溝に引っ掛かり、バランスを崩して滑り左足首をひねった。	22	1	413	1000 人 以 上
62	2018	9	9 ～ 10	旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	28	19	239	—
63	2018	9	9 ～ 10	旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	27	19	239	—
64	2018	9	10 ～ 11	3階客室サービス本部から移動中、階段で2階に下りる際、両手にスーツケースとサブバッグを持っている状態でベルトが外れているのを直そうとしたところ、バランスを崩して転倒し落下し、打ち身と左足首の甲辺りを骨折する怪我を負った。	46	2	413	500 ～ 999 人
65	2018	9	18 ～ 19	旅客搭乗中、手荷物（キャリーケース1個/10kg）を座席上に収納の際、腰に強い痛みが生じた。	23	19	611	1000 人 以 上
				機内前方左ドア付近にて旅客の見送りに、背後にいた大柄な旅客				

66	2018	9	21 ～ 22	が座席上物入れからバッグを取り出そうとした際、バランスを崩して後ろ向きに転倒しそうになった。その際、客室乗務員の左肩甲骨下付近に旅客の頭部が当たり、勢いで前に突き飛ばされたような状態になり背中に痛みを感じた。	49	19	921	1000人以上
67	2018	9	16 ～ 17	旅客搭乗中、手荷物で満杯の座席上収納棚の扉を閉めるため、座席横ステップに乗り両手で扉を押し込んだ際に、右手親指の付け根付近をひねって負傷した。	25	19	611	1000人以上
68	2018	9	21 ～ 22	空港内事務所へ向かうためキャリーバック1個、トートバック1個を持ち、機体扉に接続している可動式搭乗機の外階段を降りていたところ、階段の中腹で左足のヒール部分が階段溝に引っ掛かり、バランスを崩して滑り左足首をひねった。	22	1	413	1000人以上
69	2018	9	9 ～ 10	旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	28	19	239	—
70	2018	9	9 ～ 10	旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	27	19	239	—
71	2018	9	10 ～ 11	3階客室サービス本部から移動中、階段で2階に下りる際、両手にスーツケースとサブバッグを持っている状態でベルトが外れているのを直そうとしたところ、バランスを崩して転倒し落下し、打ち身と左足首の甲辺りを骨折する怪我を負った。	46	2	413	500～999人
72	2018	9	18 ～ 19	旅客搭乗中、手荷物（キャリーケース1個/10kg）を座席上に収納の際、腰に強い痛みが生じた。	23	19	611	1000人以上
			21	機内前方左ドア付近にて旅客の見送中、背後にいた大柄な旅客が座席上物入れからバッグを取り出そうとした際、バランスを崩				1000

73	2018	9	～ 22	して後ろ向きに転倒しそうになった。その際、客室乗務員の左肩甲骨下付近に旅客の頭部が当たり、勢いで前に突き飛ばされたような状態になり背中に痛みを感じた。	49	19	921	人 以 上
74	2018	9	～ 17	旅客搭乗中、手荷物で満杯の座席上収納棚の扉を閉めるため、座席横ステップに乗り両手で扉を押し込んだ際に、右手親指の付け根付近をひねって負傷した。	25	19	611	人 以 上
75	2018	9	～ 22	21 空港内事務所へ向かうためキャリーバック1個、トートバック1個を持ち、機体扉に接続している可動式搭乗機の外階段を降りていたところ、階段の中腹で左足のヒール部分が階段溝に引っ掛かり、バランスを崩して滑り左足首をひねった。	22	1	413	1000 人 以 上
76	2018	9	～ 10	9 旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	28	19	239	—
77	2018	9	～ 10	9 旅客搭乗中、カートにてドリンクサービスを行っていたところ、カートが浮き上がるような揺れが生じて、咄嗟にカートを押さえてその場にしゃがみこんだが、腰を反るような姿勢になり負傷した。	27	19	239	—
78	2018	10	～ 23	22 航空運送のため航空機に乗務中、降下する際に両耳が詰まり、中耳炎となった。	27	12	714	500 ～ 999 人
79	2018	10	～ 10	9 建設予定現場である山地の現地調査に行き、下山する途中に大きな石が散乱している場所で足を滑らせて転倒し、足をひねり骨折した。	65	2	711	50～ 99人
80	2018	10	～	7 航空機に乗務するため、職員専用通路2階から1階に階段を下りていたとき、足を踏み外し転倒した。その際、両手に大きなカバン	49	2	371	100 ～

			8	を持っていたため、両足を強打して負傷した。				299 人
81	2018	11	21 ～ 22	出張先で研修に参加し、会社主催の親睦会に出席したあと、宿泊先ホテルに戻るため道路を横断していた。その際、凍結路面で足が滑って転倒し、腰椎と左肘を骨折した。	44	2	419	500 ～ 999 人
82	2018	11	2 ～ 3	旅客搭乗中、手荷物（1個当たり約10kg×3個）を座席上部の物入れへ収納していた。1個目のスーツケースを収納した際、右半身に重心が掛かり背筋に痺れがあったが、残り2個も収納し、業務を続けていたところ、症状が悪化した。	26	19	611	1000 人 以 上
83	2018	11	12 ～ 13	航空機に乗務中、機内後方シートに着席している際に左耳が詰まり、しばらくして痛みが出て、ほぼ聞こえなくなった。着陸後も左耳の痛みと詰まりが継続し、航空性中耳炎と航空性副鼻腔炎を併発した。	31	12	714	500 ～ 999 人
84	2018	11	15 ～ 16	屋外器材置場で、除雪機械の脱着作業を行っていた。車両から排土板を外す際、周囲の確認を怠り、排土板が右足甲に落下した。	38	4	225	1～9 人
85	2018	11	14 ～ 15	空港ゲートで、飛行機から貨物を取り降ろす際に被災者が立ち会った。地上2.4mの高さまで上昇したハイリフトローダー上に行ったとき、飛行機から足下に移動してきたパレットで後ずさりし、ハイリフトローダー上から地上に転落して意識を失った。	42	1	391	10～ 29人
86	2018	12	16 ～ 17	空港内手荷物集荷場にて、受託手荷物をコンテナへ組み付け作業中、コンテナから地上に降りる際、後ろ向きのまま左足から床へ着地した。左足で床にあった鞆を踏んだため、避けようとしてバランスを崩し、左側へ勢いよく反転し、手荷物用ベルト下段の角に左脇付近を強打し、肋骨を折った。	64	1	611	300 ～ 499 人
			16	飛行機内にて、セキュリティチェックを行うため、21列目RHS側				500 ～

87	2018	12	～ 17	の座席縁に足を掛けて、オーバーヘッドロッカー内を確認していた際、足を滑らせ床に転倒し、左足を捻挫した。	64	1	371	999 人
88	2018	12	8 ～ 9	着陸姿勢に入り、機内最後部にあるギャレーの安全確認を実施後、ギャレーから乗務員席に移動しようとしたとき、体が浮き上がるような縦揺れが発生した。しゃがむと同時に横揺れが発生し、ギャレー台下のカート収納スペースに、体の一部が入り込む状態でぶつかった際、左こめかみ、顎関節・首・肩に挫傷を負った。	64	3	714	1000 人以上
89	2018	12	17 ～ 18	着陸時に揺れが発生する可能性がある旨が機長から連絡され、実際に強めの着陸をしたと感じた。ブレーキ時、シート背面に押し付けられる状態となり、腰ベルトに強い締め付けを感じた。その後の勤務中に頭痛、吐き気があり、背中や腰に挫傷を負った。	64	19	239	1000 人以上
90	2018	12	11 ～ 12	食事サービス中、機内後方ギャレーでホットドリンクの入ったプラスチックポット3本をカート上に載せた。別の客室乗務員が反対側からカートを引き出した際、ギャレー出入口の床段差に車輪が引っ掛かり、カートを強く押したところ、カートが傾きポットが床に落下した。ホットドリンクが反対側にいた客室乗務員の右足にかかり、火傷を負わせた。	64	11	362	1000 人以上
91	2018	12	21 ～ 22	空港のラウンジホールからパントリーへ入ろうとしたときに、モップで掃除され濡れていた大理石の床で両手が滑り、後方へ転倒、その際左手には掃除用具を持っていたため、咄嗟に右手を床につき、負傷した。	64	2	417	500 ～ 999 人
92	2018	12	7 ～ 8	コンテナ搭降載専用車両を点検中、運転席から右側の階段を下りる際、残りの段差を見誤り、最下段より1段上から下りた。その際、体勢が不十分なまま全体重が掛かった状態で着地し右膝を負傷した。	64	19	921	50～ 99人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。